

患者家族の思いに寄り添い、安心して退院できる看護を頑張っています！

Q 1 所属する部署の看護の特徴、業務内容を教えてください。

5階西病棟は主に、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、感染症内科の患者さんが入院されています。化学療法治療や心臓カテーテル治療、内視鏡検査やCOVID-19の治療等幅広い看護を行っています。呼吸器管理や心電図モニター管理を要する患者さんが多いため、呼吸器や心電図について深く学ぶことのできる病棟だと思います。心不全患者さんへの生活指導や在宅酸素療法の導入など退院に向けた指導が必要なケースが多くあるため、退院支援にも力を入れています。満30床と一般病棟の中では病床数が少ない分、患者1人1人と深く関わる事ができるところが病棟の魅力だと思います。

Q 2 部署における教育体制、後輩指導などサポート体制を教えてください。

新人看護師1人1人に実地指導者とメンタルサポーターが付くような体制になっています。1対1での丁寧な関わりを通して、不安なく業務を覚えていくことができるようにサポートしています。また、チーム全体で関わる風土もあり、困っているときには周囲が自然に声を掛け合う温かい雰囲気があります。新人さんの思いやペースに寄り添いながら、安心して成長できる環境づくりを大切にしています。

Q 3 高度急性期病院で働く魅力を教えてください。

入院直後の不安が大きい患者さんや、手術直後・急性増悪など、状態の変化が激しい患者さんの看護をする機会が多くあります。その中で、小さな変化を見逃さずに対応する観察力や判断力が求められ、日々成長を実感できる環境です。大変に思う一面もありますが、急性期を脱し、回復していく姿を間近で見られることにとてもやりがいを感じています。多職種と連携しながら、チームの一員として患者さんの早期回復を支えていることが、この急性期病院で働く魅力だと感じています。

